

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について（K S 2 7）

【演習の目的】

各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で18回目の実施となります。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和8年10月19日（月）から10月29日（木）までの間（本実施期間の前後 約1週間（基準）で準備期間及び撤収期間を設定）で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

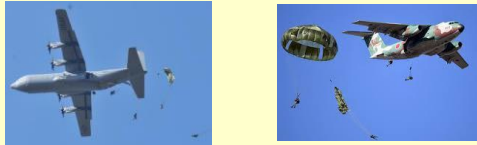
演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができます。なお、本演習の一部に同志国軍が参加（オブザーバー含む。）します。

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について

水陸両用作戦



空挺作戦



海上作戦



統合防空ミサイル防衛



共同統合対艦戦闘



その他関連する訓練（日本全国各地）

- 情報戦
- 統合後方運用（輸送・補給、衛生等）
- 陸上作戦
- 重要施設等防護（基地警備等）
- サイバー攻撃等対処
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信



※1 演習前後の期間において、自衛隊の航空機が北九州空港を利用します。

※2 天候により、日出生台演習場で空挺降下が実施できない場合等、日米の輸送機が築城基地、板付飛行場に着陸する可能性があります。

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）の 福岡県内における訓練について

本演習において福岡県内で実施する訓練は、

- ① 統合通信訓練
- ② 共同統合対艦戦闘、統合防空ミサイル防衛
- ③ 統合後方運用（輸送・補給/衛生/その他）
- ④ 重要施設等防護（共同／協同基地等警備訓練、滑走路（被害）復旧訓練）
- ⑤ 陸上作戦（対艦戦闘訓練）

を予定しています。訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

福岡県内で実施を検討している訓練内容

① 統合通信訓練

陸上自衛隊の部隊が権現山、大坂山、三郡山、安の里公園、城山公園及び筑前町多目的運動公園に展開し、通信中継等を実施する計画です。

【期 間】令和8年10月19日（月）～10月29日（木） 通信中継

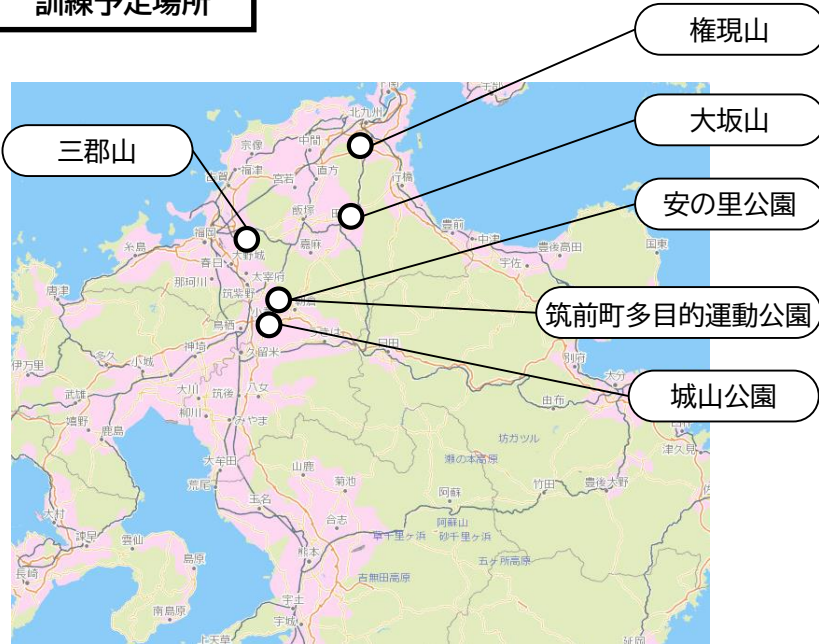
※ 上記の訓練実施前の令和8年10月10日（土）～18日（日）の間において、電波地誌調査を実施する予定です。

※ 訓練期間中、夜間においても通信の中継を実施します。

【参加部隊】陸上自衛隊：約20名（第4師団）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



イメージ



通信中継



電波地誌調査等

福岡県内で実施を検討している訓練内容

② 共同統合対艦戦闘

航空自衛隊の戦闘機部隊が四国沖で実施される共同統合対艦戦闘に参加し、それぞれの対処要領について演練します。その際、航空自衛隊の基地が使用できない事態を想定し、戦闘機等が北九州空港に、一時的に展開する訓練を計画しています。

【期 間】令和8年10月19日（月）～10月29日（木）（前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定）

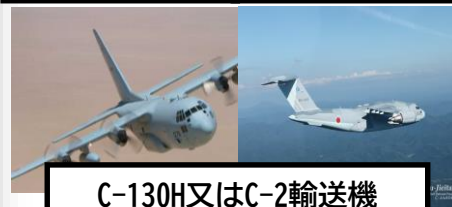
【参加部隊】空自西部航空方面隊、警戒管制団、輸送航空隊

【北九州空港展開】人員約30名、F-15戦闘機×2-4、E-767早期警戒管制機×1
人員約25名、KC-46空中給油機×1、KC-767空中給油機×1、
KC-130H×1またはC-2輸送機

訓練イメージ



北九州空港



C-130H又はC-2輸送機

- ①四国沖での訓練前、北九州空港に展開
②四国沖での訓練終了後、北九州空港へ帰投
※期間中、1日1回の運航を計画しています。
なお、夜間の運航は計画致しません

※ 訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

福岡県内で実施を検討している訓練内容

④ 重要施設等防護（共同／協同基地等警備訓練）

福岡県においては、陸空自衛隊等による協同基地警備訓練を実施する予定です。なお、実弾は使用しません。

【期 間】令和8年10月19日（月）～29日（木） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

※ 夜間訓練を実施するとともに、空包を使用します。

【参加部隊】陸上自衛隊・情報本部：約670名（第4師団等）

航空自衛隊：約300名（西部航空方面隊）

訓練予定場所



使用場所	訓練内容
築城基地	協同基地警備訓練
春日基地	
太刀洗通信所	
芦屋基地	警備訓練

訓練イメージ



福岡県内で実施を検討している訓練内容

④ 重要施設等防護（滑走路（被害）復旧訓練）

陸・空自衛隊の部隊が芦屋基地及び築城基地において、滑走路被害復旧訓練を実施します。なお、爆破薬を使用した訓練は実施しません。

【期 間】令和8年10月22日（木）～10月26日（月）※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】陸上自衛隊：第5施設団 約25名、第4施設大隊 約45名

航空自衛隊：西部航空施設隊 約20名、中部航空施設隊 約20名、第8航空団 約10名、

航空教育集团 約10名、第3輸送航空隊 約5名



訓練イメージ

